

(C 提案)

様式2) 技術提案書 (1)

No. C

(仮称)めまづ健康福祉プラザ設計プロポーザル提案書

福祉・保健・医療の連携による
ユニバーサルプラザ
～開かれた福祉のひろばの実現～

- 家庭と地域のかかわりを深める施設
- 空間の自由性を高めるユニバーサルスペース
- 都市と施設との連続性・開放性の形成

■施設デザインコンセプト

- ・大屋根に集う福祉の家
大きなひとつ屋根の福祉の家は、でかい、ふれあい、まなびあひ、ついでい、一丸ムスが心地よく暮らしの実現を目指す拠点施設を目指します。
- ・明るく開放的
透明感のある外装材を使用し、親しみやすく開放的な施設とします。
健康・福祉に対する意識向上を促進する拠点施設とします。
- ・共に生きる
最上部の大瓦が全体を覆うことで家と地域の一体感、健康・保健・医療の一体感を表現します。
- ・色彩と素材
大瓦や外柱には沼津市の花である「ハマユウ」の清涼感のある色彩をモチーフとします。
内部は暖かみのある木質系の素材とします。



完成外観イメージ (南西から望む)



宇園通り側の景観展開

様式2) 技術提案書 (3)

No. C

■人にやさしいユニバーサルデザイン

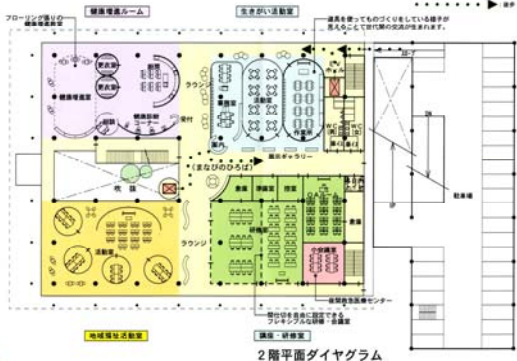
- ・使いやすいディテール、空間構成、バリアフリー計画、わかりやすいサイン計画、色彩計画などによって障害のある方も平穏やお楽しみも、市民の皆様も自由に利用出来る施設とします。
- ・高い質なる健康福祉プラザと立体駐車場は、各層をスロープなどで接続し、駐車場から施設へのスムーズなアクセスに配慮します。
- ・いろんな世代、いろんな人たちが各々に活動している様子が伺えることで、新たな出会いが生まれ、交流が広まります。
- ・開かれた広々とした空間は、より豊かなスペースとして活用します。

▲であいのひろばイメージ

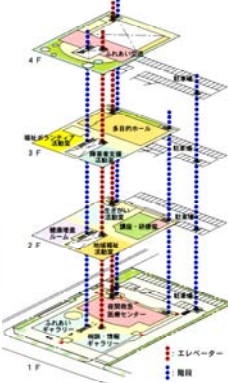
▲まなびのひろばイメージ

▲大規模災害時での施設活用

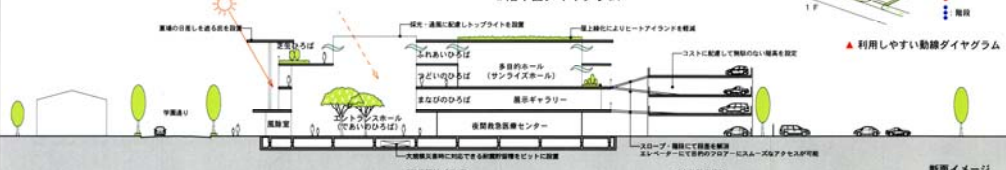
- 1階の避難誘導・医療センター以外は設計時に考慮が少なく、空室に可変性を付与して、フロア全体を大規模災害時に活用できるように配慮します。
- 構造方式は免震構造を採用します。
- 1階床下ピットに耐震貯水層を設け、水を浄化して災害時の飲料水などに利用します。
- 自家発電設備を設けます。



2階平面ダイヤグラム



▲利用しやすい動線ダイヤグラム



断面イメージ